

ロガーからの HDS への最初の Cisco ICM 履歴データ複製

目次

[はじめに](#)

[はじめに](#)

[表記法](#)

[前提条件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[HDS のレジストリ 設定](#)

[履歴データを保って下さい](#)

[イメージ Args レジストリキー設定](#)

[関連情報](#)

[はじめに](#)

履歴データは、ロガーから Historical Data Server (HDS) に複製されます。これは、クライアント/サーバ機構です。レプリケーション サーバ プロセスは、Cisco Intelligent Contact Management (ICM) ロガーで動作し、ピア レプリケーション クライアント プロセスは ICM HDS で動作します。

HDS の初期インストールに、ICM Logger のレプリケーション サーバおよび HDS の複製クライアントはすべての HDS テーブル データのための開始点を確立します。開始点は HDS のレジストリ 設定によって決まります。この資料は HDS の最初のレジストリ 設定を記述したものです。

[はじめに](#)

[表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

[前提条件](#)

このドキュメントの読者は次の項目に関する知識が必要です。

- Cisco ICM データベース
- Microsoft SQL Server データベース

[使用するコンポーネント](#)

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco ICM 4.1.5 および以降
- Microsoft SQL Server バージョン 6.5 および 7.0

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのような作業についても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

HDS のレジストリ 設定

HDS Admin Workstation（AW）を構築するとき HDS データベースを大きさで分類し、作成することは必要です。履歴データがデータベースで保存される時間は HDS データベースのサイズに影響を与えます。保持時間は表によって設定できます。

履歴データを保って下さい

Cisco ICMソフトウェアは各 HDS AW のページ プロセスを 1 日 1 回開始します。デフォルトで、ページ プロセスは 12:30 AM で毎晩動作します。プロセスは幾日の指定 番号より古いレコードを削除します。Cisco ICM データベースを設定するとき各々の歴史的表のデータを保存するために日数を規定できます。この表は履歴データ保持のデフォルト設定をリストしたものです。

歴史的表	デフォルト保持時間
Application_Event、 Config_Message_Log、イベント	14 日
Admin、リカバリ	30 日
他のすべての歴史的表	100 日

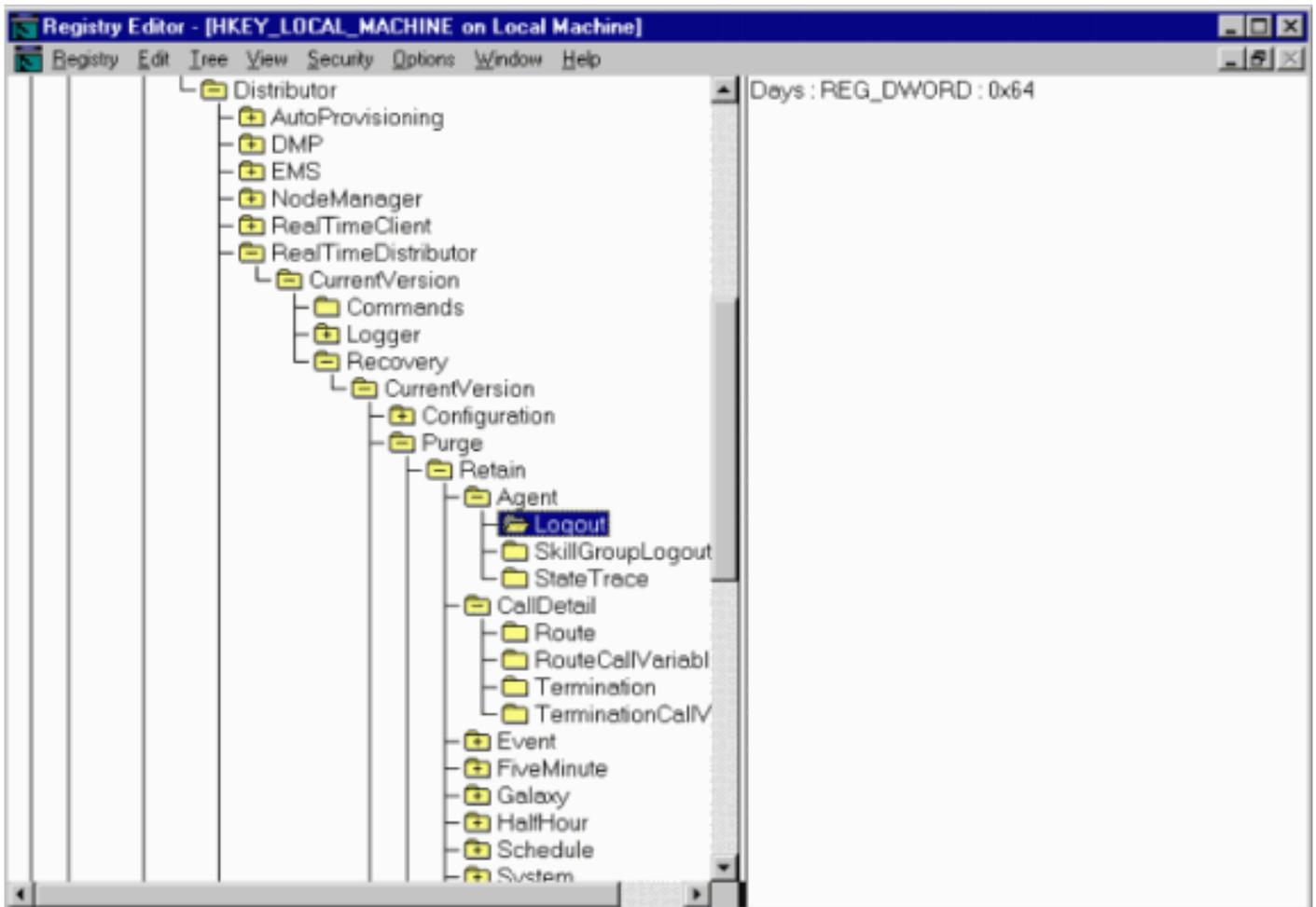
すべての表のデフォルト保持時間は次のレジストリキーの下で見つけることができます：

```
HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\GeoTel\ICR\<cust_inst>\Distributor\  
RealTimeDistributor\CurrentVersion\Recovery\CurrentVersion\Purge\Retain
```

注: 上記の値はスペース制限による 2 つの行に表示されます。

ドリル ダウン 2 つのレベルは特定の表に、レジストリキーを選択し、幾日をダブルクリックし、新しい保持時間に値を変更します。

図 1：レジストリ エディタ



イメージ Args レジストリキー設定

HDS データベースが自動記録器データベースと同期されれば、データは ImageArgs レジストリキー設定に基づいて自動記録器からの HDS の各データベーステーブルに複製されます:

レジストリキー:

```
HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\GeoTel\ICR\<cust_inst>\Distributor\
  NodeManager\CurrentVersion\Processes\rpl\ImageArgs
```

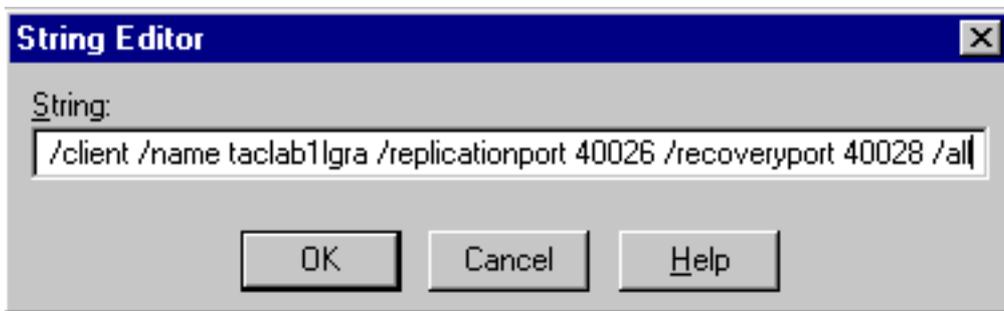
ImageArgs:

```
/db <HDS database name>/client/name <ICM Logger node name>/
  replicationport40026/recoveryport40028/all
```

注: 上記のキーはスペース制限による 2 つの行に表示されます。

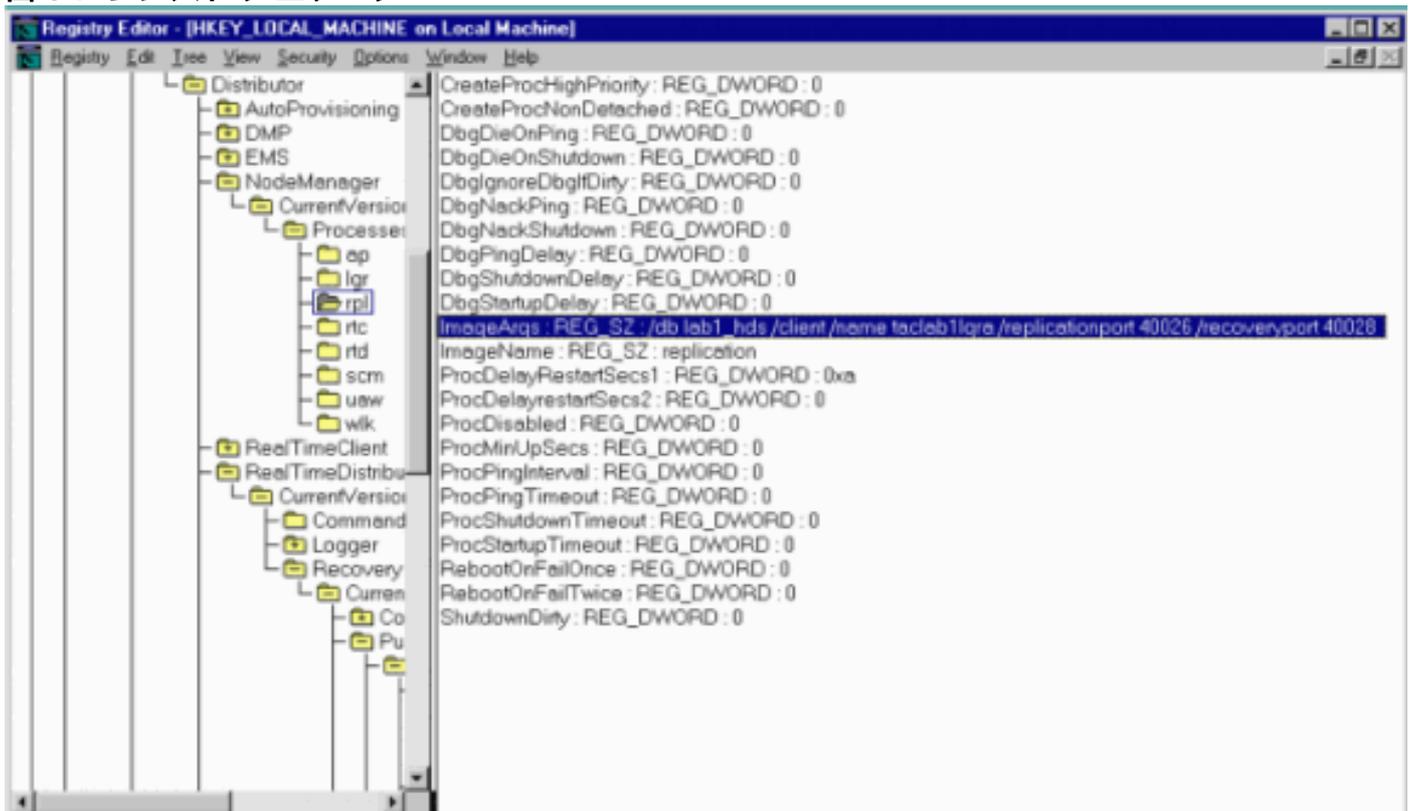
ロガーから HDS に複製されるデータの種類の /all Node Manager スイッチの設定まであります。 /all 設定される場合、ロガーは HDS に古い歴史的表を複製します。 /all 設定されない場合、ロガーは古い履歴データをスキップし、サービスがつく時間からのだけ新しいデータを複製します。 /all スイッチを始動させるため、ダブルクリック ImageArgs。 スtring エディタディスプレイ。 /all スイッチに行の端に入り、『OK』 をクリックして下さい。

図 2: String エディタ



注: /all スイッチは HDS データベースが空であるとだけはたつきません。これは Cisco ICM プロセスが HDS ではじめて開始する前に上記のレジストリが設定 する必要があります。さもなければ、HDS データベースは再製する必要があります。

図 3：レジストリエディタ



関連情報

- [ロガーおよび HDS ログ保持およびページ設定の識別および変更](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)